

令和6年度 経営発達支援事業実施評価表

| 区分 | 項目 | 事業の目標 | 評価 | |
|--|----|----------------------------------|---|---|
| I 経営発達支援事業 | 1 | 地域の経済動向調査に関すること | 四半期ごとに、会員事業所80者を対象として企業業況調査を実施し、商工会だよりへの掲載、会員事業所へのDM及びホームページでの公開を通して、広く広報を行います。次年度以降も実施し、個社の活性化に活かせるよう有効に活用していきます。 | A |
| | 2 | 需要動向調査に関すること | 展示会・商談会で個社商品の需要動向調査を実施します。消費者やバイヤーの需要を確認し、商品開発や販路開拓に繋げていきます。 | C |
| | 3 | 経営状況の分析に関すること | 巡回及び確定申告時において経営分析を行う事業者の発掘を行います。また経営分析セミナーを開催し、数値(定量)及び数値以外(定性)による分析を行ない、事業計画策定の基礎資料とします。 | A |
| | 4 | 事業計画策定支援に関すること | DXに関する意識の醸成のためDX推進セミナーを開催します。また、事業計画策定セミナーを開催し、事業計画策定の意義や必要性を理解していただき事業計画策定に繋げていきます。創業希望者に対しては、創業セミナーを開催し創業計画策定を支援します。 | A |
| | 5 | 事業計画策定後の実施支援に関すること | 策定した事業計画の実行、検証、改善を図るため、必要に応じて専門家の個別相談を行いフォローアップに努め、巡回及び窓口相談において伴走支援を実施します。今後も、策定した事業計画を意識した経営力向上への取組みの一層の支援を実施します。 | A |
| | 6 | 新たな需要の開拓に寄与する事業に関すること | 新たな販路開拓のための商談会及び物産展出展に向けた商品開発及び既存商品のブラッシュアップに取り組みます。また販路開拓個別相談会を開催し、afterコロナを見据えた販路開拓に取り組みます。加えてITを活用して販路開拓に取組み、消費者の需要を喚起する事業をとおして、個社の需要開拓に取組みます。 | B |
| II 経営発達支援事業の円滑な実施に向けた支援力向上のための取組 | 1 | 事業の評価及び見直しをするための仕組みに関すること | 年2回「評価・検証委員会」を開催し、経営発達支援事業に対しての事業評価を受け、次年度に繋がるご意見及びご提案をいただきました。本年度の事業を検証改善し、個社及び地域経済により効果の高い事業への取組みに邁進します。 | A |
| | 2 | 経営支援員等の資質向上等に関すること | 経営支援員の資質と支援能力向上のため、京都府及び中小企業大学校等への研修に積極的に参加します。また、2人1組でのOJTによる巡回強化月間を設けるなど個社の伴走支援に取り組みます。今後も、成果の出る伴走支援に取組んでいきます。 | A |
| | 3 | 他の支援機関との連携を通じた支援ノウハウ等の情報交換に関すること | 京都府、福知山市、地元金融機関、福知山商工会議所等との連携を図り、小規模事業者と地域経済の活性化に一体となって取組みました。次年度以降も情報共有の強化など連携を密にして地域経済の活性化を推進します。 | B |
| III 地域経済の活性化に資する取組 | 1 | 地域経済活性化事業 | 本会における地域経済活性化の重要施策の一つである農商工連携及び6次産業化、観光に関する事業推進のため、農商工連携観光推進会議を関係機関及び事業所の協力を得て開催します。またSDGsの推進に取り組みます。 | A |
| 評価基準 A: 目標を達成することができた(100%以上) B: 目標を概ね達成することができた(80~90%) C: 目標を半分程度しか達成することができなかった(30~79%) D: 目標をほとんど達成することができなかった(30%未満) | | | | |